

宇部幸楽苑広報紙

幸 楽 苑 だ よ り



3月号

発行元：介護老人保健施設 宇部幸楽苑
 発行日：令和7年 3月1日
 TEL 0836-51-3113 FAX 0836-51-5522



『明るく 優しく』

敬意をもって』

2F支援相談員 判野千聖

私が隣の病院から支援相談員として異動して、今年で四年になります。病院時代を含めると、相談業務を担うようになってから十二年を迎えました。

さて、当苑の運営方針の一つに「常に笑顔で誠意のある対応を心掛けます。」と掲げられています。新型コロナウイルスの流行により、マスク装着が当たり前となり、笑顔というのは伝わりづらくなりました。私たち支援相談員は、当苑へ入所をご希望してくださるご利用者様やそのご家族様に最初に関わらせていただく窓口になります。お電話やご来苑をいただいた際、私たちの対応一つ一つが苑に対しての印象に繋がると感じています。対面でお話をさせていただきませんが、マスクをしているので、お互い表情が全て見えるわけではありません。それは電話でのご相談も然りです。見える・聞こえることから得られる情報は限られますが、その中からでも受ける印象は様々あります。目線や声色など、僅かな変化で暖かかったり、冷たかったり、真反対の印象を受けます。大切なご家族様をお任せしていただく身として、

少しでも安心していただくために、ご相談時だけでなく、日々の来苑対応や電話対応など、一つ一つの対応に「明るく優しく敬意をもって」、マスクの下には

笑顔を含めて、誠意ある対応を心掛けています。ご家族様には感染対策のため、まだまだご不便・ご迷惑をおかけしています。限られた回数での面会を、少しでも心穏やかに過ごしていただけるよう、今後も職員一同、誠心誠意、対応させていただきます。また、入苑のご相談や当苑での生活についてだけでなく、介護保険制度等、ご心配・ご不安なことがありましたら、お気軽に支援相談員までご相談ください。お待ちしております。

最後に、話は変わりますが、介護老人保健施設には「ROKENくん」というイメージキャラクターがいます。先日、雪が降った際に当苑の前で写真を撮りましたので、ご紹介します。



《基本理念》

私たちはサービス提供者として、常に、地域社会における入所者様・ご家族並びに利用者の立場に立って考え、最善の行動を致します。

《運営方針》

- 1.常に笑顔で誠意のある対応を心掛けます。
- 2.説明と同意の実践に努め、納得いただける施設サービスを実施致します。
- 3.人権を尊重し、入所者様・ご家族と共に職員が一丸となって自立生活の支援を致します。
- 4.個人の尊厳とプライバシーの保護に努めます。
- 5.疾病や障害の予防と適切な施設サービスを提供致します。
- 6.地域社会と連携して質の高い施設となるよう努力し、職員は日々研鑽に努めます。

「新人紹介です」

NEW

皆様こんにちは。幸楽苑2Fにて勤務させていただきます。昨年（R6年）11月からの入社で早3カ月が経ちました。

ここで改めて自己紹介をさせていただきます。広島県出身3月20日生まれ（竹内まりやさんと同じ）の53歳。趣味は釣り、プロ野球観戦（カープファン）、マンガ鑑賞、DIYです。

前職は、呉服の販売を27年やっておりました。店頭接客や年間催事計画、商品の仕入れ、メンバー育成等ありがたい経験をさせて頂きました。若かりし頃は、イケイケドンドンで販売や利益に燃えていましたが、お客様に寄り添い、耳を傾けて、喜んで頂く事の大切さを思うようになり、今度は何か人生の大先輩への恩返しができないかを考えるようになりました。それが介護業界へ進みたいきっかけのひとつになりました。ですが、いざ入ってみると外から見る世界以上に違う世界でした。職員の皆さんの無駄のない連携プレー、常に利用者様へ目や耳を研ぎ澄まし、それぞれの責任を自覚して、誇りをもって仕事されているプロの集団！と凄みを感じました。利用者様の食事、排泄、移乗移動、更衣、入浴、清拭、ボディメカニクス等…。

「素人の私にとってこの業界はこんなにも奥が深い世界なのかと思いました。」

同時に、私はこれほどまでに覚えが悪く、体力がないのかとショックを受けました。

しかし、今まで経験したことがない事を、この年で学べて気づかされることは本当に感謝です。

繰り返し実践して身体でコツを覚え、その仕事や作業の準備をしっかり行い、自分の身体の負担を軽くするようにしていきたいと思います。

私がまだ幼い頃、母親から聞かされた言葉を最近思い出しました。

『子供叱るな来た道だ、年寄笑うな行く道だ』

当時は何も感じませんでしたが、今なら分かります。歳をとることを意識して、それぞれ立場を理解し、尊重する必要があるという教えが込められている。とても考え深い言葉です。

これからも人間力向上を目指しながら、頑張りすぎず、頑張っていこうと思います。

皆様どうぞ今後ともよろしくお願い致します。最後になりますが、お着物関係（保管方法等）の事でしたら何でもおっしゃってくださいね。アドバイスいたしますよ。（笑）



「徒然なるままに…」

2F

櫻田 陽子

3月と言えばお雛祭りですね。

幸楽苑では毎年、手工芸クラブの方々とお雛様を作っています。皆様とても楽しみに待っておられるの？「今年はどうなお雛様？」「来年はどんなのを作るの？」「私の順番はまだ？」と言われることも度々です。女性にとってお雛祭りは、特別な行事のように思われます。

なかでも、95歳のSさんは今年作ったお雛様がお気に入り、これは私が去年作ったお雛様よ」と毎日見せて下さいます。

「私が」と言われるSさんの満足そうな、そして少し誇らしげな表情を見る度に、自分で何かを作り上げる、手作りっていいなと改めて思います。

来年はどんなお雛様にしようかなあ。そう思うだけで私もなんだかワクワクします。私にとってもお雛祭りは特別な行事です。

ひな祭り

